



秋田県立比内支援学校 居住地校交流だより



平成30年10月9日 前期号

障害のある子どもたちと障害のない子どもたちが共に活動する機会を通して、互いを正しく理解し、共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さを学ぶことができるように、国、県共に交流及び共同学習を推進しています。

本校でも児童生徒が、自分の住んでいる地区の学校に行き行って学習する「居住地校交流」を行っています。前期は、小学部5名、中学部3名の児童・生徒がそれぞれの居住地校を訪問して交流を行いました。たくさんの人と出会い、ふれ合い、様々な経験をし、地域に多くの友達ができるように丁寧に進めています。前期に実施した交流の様子を紹介します。

上川沿小学校 2年

音楽の授業に参加し、合唱や音楽遊びを一緒に楽しみました。たくさんの友達が優しく接してくれたので、緊張することなく、積極的に話して交流することができました。

桂城小学校 4年

一緒に校内を見学したり、カレンダー作りやかるた遊びをしたりしました。友達とお互いに話しかけ合いながら、仲良く活動することができました。

桂城小学校 6年

水泳の授業に参加しました。たくさんの友達や先生から歓迎され、自分から友達の名前を呼んだり、一緒に泳いだりして交流を楽しみました。

鷹巣中学校 1年

音楽の授業で「トゥモロー」を歌いました。楽譜を見て、「今はここだよ。」と教えてもらいながら、一緒に練習し、楽しく交流することができました。

北陽中学校 1年

技術の時間に参加し、木工を行いました。釘の打ち方や、錐で穴を開ける方法などを学び、友達と協力して課題を達成しました。

比内中学校 1年

小学校時代の同級生が中心となり、温かく迎えてくれました。音楽の授業で合唱をしました。みんなに合わせて歌い、「きれいな声ですね。」とほめられました。



【保護者の感想】

久しぶりにお友達と会えてうれしそうでした。お友達も温かく迎えてくれて、楽しく過ごすことができました。もう何回か交流で行ければいいなと思いました。



本人もすごく喜んでいました。仲良く学習し、優しく接してもらいよかったです。お互いよい刺激になったのではと感じました。来年もぜひ参加したいと思います。

久しぶりに同級生に会えてうれしそうでした。交流したクラスの子が、困っている時に親切に手を差し伸べているのを見て安心しました。また体育や音楽などで交流したいと思います。